

地震、津波、火山噴火、洪水、土砂崩れなどの自然災害が頻発する国土の上で、私たち日本人は暮らしている。今年も大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、台風第21号、北海道胆振東部地震など、大規模な自然災害によってわが国は大きな被害を受けた。

## 過去に災害集中期

わが国は繰り返し自然災害に見舞われてきた。時期によってはいろいろな大災害が集中する経験もしてきた。有史以来の地震や噴火、津波などによる死者・行方不明者数の多いもの21を並べたのが表1である。関東大震災を筆頭に大変な数の死者が出てきたが、最近の震災も多く、災害は決して過去のものではないことがよく分かる。風水害による死者・行方不明者も同様で、明治以降から戦後の災害が多く含まれている。

過去の災害集中期（貞観年間、鎌倉時代、慶長年間、元禄年間、安政年間、太平洋戦争敗戦前後）のうち、貞観年間（859～876年）と太平洋戦争敗戦前後（1944～50年）を整理したものが、表2・表3である。東日本大震災では、この地震は貞観地震の再来ではないかとよく言われたが、貞観時代にはそれ以外にも多くの災害があった

# 大災害頻発国の意識薄く

表1 日本の自然災害死者数 (地震・津波・火山編)

順位	災害名	年	死者・行方不明者数
1	関東大震災	1923	105,000
2	明応地震	1498	41,000
3	鎌倉大地震	1293	23,000
4	明治三陸地震津波	1896	22,000
5	東日本大震災	2011	※ 21,565
6	宝永地震	1707	20,000
7	島原大変肥後迷惑	1792	15,000
8	八重山地震津波	1771	12,000
9	元禄地震	1703	10,000
10	善光寺地震	1847	8,174
11	安政江戸地震	1855	7,444
12	濃尾地震	1891	7,273
13	阪神淡路大震災	1995	6,473
14	福井地震	1948	3,769
15	会津大地震	1611	3,700
16	昭和三陸地震津波	1933	3,064
17	北丹後地震	1927	2,925
18	三河地震	1945	2,306
19	三陸沿岸及び北海道東岸地震	1611	2,000～5,000
20	安政東海地震	1854	2,000～3,000
21	安政南海地震	1854	数千

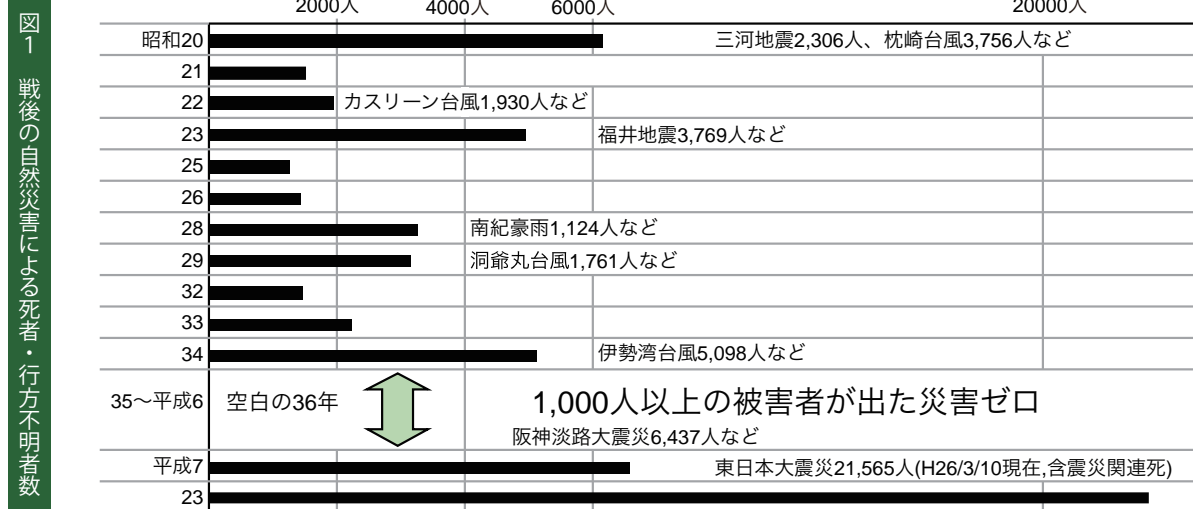
表2 災害史 貞観年間 (859～876年)

発災日 (西暦)	被災地域	被災状況
863年 7月10日	越中・越後	山崩れ、谷埋まり、水湧き、圧死多数、直江津付近の小島数島壊滅
868年 8月3日	兵庫南部・京都	播磨諸郡の官舎、寺院のごとごとく倒壊
869年 7月13日	三陸沿岸	三陸沖の巨大地震（貞観三陸地震）、城郭、門櫓など倒壊するもの無数、津波が多賀城下を襲う、溺死者1,000人
860年 6月29日	京都	長雨による大水
860年 10月7日	近畿諸国	京都に台風による洪水、諸国に高潮、死者多数
862年 5月8日	京都	大雨による洪水、道路遮断
867年 6月13日	河内	洪水、堤防決壊
871年 9月28日	京都	大雨による洪水
872年 8月12日	大和・因幡	台風による洪水、稲の被害
873年 9月12日	伊勢	豊受神宮の層門倒壊、殿舎と倉庫が流失
874年 10月12日	京都	暴風雨で御所大被害、大小の橋梁残さず流出、京の集落では激しい水の流入、溺死者多数、3,000軒以上が罹災

※ 2014年3月10日現在。震災関連死含む

表3 災害史 太平洋戦争敗戦前後 (1944～1950年)

発災日 (西暦)	被災地域	被災状況
1944年12月7日	東海道沖	死者・不明者1,223人、全壊家屋17,600戸、津波流出3,100戸
1945年1月13日	愛知県南部	死者・不明者2,306人、全壊家屋7,200戸
1946年12月21日	南海道沖	死者1,330人、全壊家屋11,600戸、津波流出1,450戸
1948年6月28日	福井平野	死者3,769人、全壊家屋36,000戸、焼失3,900戸
1945年9月	九州～東北	死者・不明者3,756人、全・半壊家屋・流出88,000戸
1947年9月	東海以北	死者・不明者1,930人、全・半壊家屋・流出9,300戸
1948年9月	四国～東北 (特に岩手)	死者・不明者840人、全・半壊建物18,000戸
1949年8月	九州、四国	死者・不明者160人、全・半壊家屋・流出2,560戸
1949年8～9月	中部～北海道	死者・不明者160人、全・半壊家屋17,200戸
1950年9月	四国以北 (特に大阪)	死者・不明者503人、全・半壊家屋・流出56,100戸



※図表の出典はいずれも「国土が日本人の謎を解く」

太平洋戦争の敗戦前後の時期も、大きな地震や台風が全国各地を襲い、多数の犠牲者が出た。アメリカ軍による非戦闘員に対する無差別な殺戮と都市の焼滅という大被害を受けた人々を、大災害が無情にも襲ったのである。

最大と想定してこれに対応できるように河川などの整備を進めているが、完成の水準にはまだほど遠いから、現在でも同規模の台風、豪雨があれば大きな水害が発生すると言われる。最近たまたまそうした水害に襲われていないのに過ぎないとの認識が必要だ。

図1に示すように、年間に1000人以上の死者行方不明者が出た災害が、1959年（昭和34）年の伊勢湾台風の後から95（平成7）年の阪神

「国土が日本人の謎を解く」  
本書は、わが国の地理的条件・自然条件だけでなく、われわれ日本人は何を経験し、何を体験しなかったのか？ それはヨーロッパやアメリカ、中国の人々とどう異なっているのか？ について学ぶことの出来る好著。  
発行・産経新聞出版  
定価…1300円＋税

